

大豆加工品の製造販売を手掛ける、おとうふ工房いしかわ（本社高浜市、石川伸社長）は4日、三井アウトレットパーク岡崎（岡崎市舞木町）に新店「風土市場まめぞう」をグランドオープンする。直営店として40店舗目。「地域（あいち）を売る」をテーマに掲げ、愛知県内のおいしい食べ物を一堂に集めた。（刈谷）

店舗面積は約360平方メートル。「まめぞう」「ごだわりや」「うまいもんや」の3エリアで構成する。まめぞうでは、自社製造の国産大豆100%を使用した豆腐や油揚げといった大豆加工品のほか、豆乳やおからを使ったパン、プリン、菓子など200種類以上をそろえる。地元農家から仕入れた新鮮な野

おとうふ工房いしかわ

岡崎に新店

菜、果物、米、海産物、味付け肉も展開する。



3エリアで構成する新店

愛知の「おいしいもの」集結

ごだわりやでは、愛知県内のメーカーや生産者から仕入れた地場産品を販売する。南三河食文化研究会からは、八丁味噌（みそ）、白しょうゆ、たまりなどの発酵食品などをそろえる。

うまいもんやのエリアでは、愛知県内のB級グルメの豊川いなり寿司、瀬戸焼きそば、高浜とりめしを一堂に味わえる。「高浜とりめし焼きそば」「高浜とりめし稲荷」といった同店限定のメニューも用意する。

同モール内マルシェ型施設「岡崎マーカーケット」は、食やエンタメ、多彩な体験が可能というコンセプトを持つ。これに合わせた売り場づくりも特長だ。同社営業本部マーケティング部の原久美子部長は、「とうふドーナツ積み放題など、わくわくするイベントを考えている。生産者などがテスト販売やマーケティングができる場所にもしていきたい」と話している。